



はしだて みらい
橋達 未来 議員(熊石中学校1年)

町内に増え続ける空家対策について

熊石地域では最近空家の件数が増えていると思います。通学路のそばにも空家があり、強風の後にはいろいろなゴミが飛散しています。また、夕方の下校時は空家に不審者が居そうで怖いです。町で空家の状況を把握し、安全の確保をお願いしたいです。

答弁)町長

橋達議員の住んでいる折戸地区でも2件、また、近隣の相沼地区でも1件など熊石地域全体で7件を特定空家に指定し、解体費用の一部について町の補助金が活用できる仕組みで、解体を誘導する取り組みを行っています。

今回の橋達議員からの質問を受け、子ども達を含め町民の皆さんのが安心して生活することができる環境を確保するため、家が倒れる、または、屋根や壁などが飛び散るおそれのある危険な家の状態を日々確かめ、本人への通知、連絡などをさらに強化しながら、危険性を少しでもなくするように対応します。

ゆめ議会の感想～ゆめ議会に参加して～

私は、今までにしたことのない、町長への直接質問や、議場の中に入ることなど、とても貴重な体験をすることができました。この経験を元に、何事にも挑戦する気持ちをこれからも忘れず、積極的に取り組んでいきたいと思います。



さとう みさき
佐藤 海咲 議員(落部中学校1年)

商業従事者の育成について

八雲町は日常生活をするには程よい町だと思います。しかし、ちょっとした買い物などは八雲に行かなければ買えないものもあります。八雲高校にはビジネス科があり、「八雲でお店をやってみよう」というやる気のある人を育てていく取り組みを、町として八雲高校へ働き掛けてはどうですか。

答弁)町長

ご質問のとおり、町としても商業をはじめとする、さまざまな産業で活躍する人を育てていくことが、将来の八雲町を支えるうえで、とても重要なことだと思っています。

このため町では、例えば、農業の酪農で活躍していく人を育てるための拠点づくりを現在進めており、将来的には漁業、林業、商工業などの各産業の特性に応じて、それぞれの分野で活躍していく人を育てるための仕組みや拠点づくりを検討しているところです。

ゆめ議会の感想～貴重な体験～

今回、普段体験できない議会というのに参加させてもらったことで、もしこの先会議と似たような形のものに参加させてもうことがあった時に、今回経験させてもらったことを生かすことができると思いました。そしていざ、大勢の前で発言するとなった時も役に立つと思いました。



たなか しゅう
田中 朱優 議員(八雲中学校3年)

学生でも立ち寄れる建物を建ててほしい

八雲町は管内でも面積が広いと有名ですが、建物が少ないと思います。休日に遊ぶ場所がなく、結局家で遊ぶことになります。そのためか、町外へ進学する友人も少なくありません。町の発展や新幹線の開業も見据え、人の集まる建物は必要ではありませんか。

答弁)町長

八雲町には学生が気軽に立ち寄れる場所はあまり多くはなく、休日に遊びに行く場所はないかもしれません。例えばゲームセンターーやカラオケボックスなどの遊戯施設となると民間事業者が経営することとなります。札幌や函館などの都市部に比べ、八雲町の人口規模では経営面を考えると、そのような施設が造られることは難しいものと考えられます。

道路を広く、見通しを良くしてほしい

通学中や遊んでいる時に、道が狭かったり、見通しが悪い所が多いと感じました。誰もが安全・安心に暮らせる八雲町にするために、改善できないでしょうか。

答弁)町長

毎年、「幅を広げる」「歩道を設置する」「交差点の角をなくす」工事や、交差点のカーブミラーの設置など、できる限りの努力をしています。しかしながら、道路の延長が長く、大変なお金を用意しなければならないことから、なかなか充分な対応ができないことを、ご理解していただきたいと思います。

ゆめ議会の感想～八雲について話して～

議場で議会をしてみて、町長さんや役場に勤めている方々の凄さを改めて知ることができました。私も少しのことでも八雲町のために貢献できるように頑張ろうと思いました。